

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」について

特殊災害室

1 はじめに

石油コンビナートで発生する事故は、危険物又は有毒ガスの漏えいや大規模な爆発を伴う火災など、甚大な被害に拡大するおそれがあることから、石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所には、防災要員及び消防車両等を備えた自衛防災組織又は共同防災組織（以下「自衛防災組織等」という。）の設置が義務づけられています。

自衛防災組織等は特定事業所の防災体制の確立に極めて重要な役割を担っていることから、消防庁では、自衛防災組織等の防災要員の技能及び士気の向上を図り、防災体制の充実強化を目的とした「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」（以下「コンテスト」という。）を平成26年度から実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、予選の廃止等一部スケジュールの変更等を行い実施いたしました。

2 コンテストの概要

(1) 競技の概要

特定事業所内の石油タンクで火災が発生したという想定で、自衛防災組織等が保有する消防車両を活用して消火活動を行い、その活動の安全性、確実性、迅速性などを評価することとしています。

(2) 出場資格

全国の特定事業所に設置されている自衛防災組織等のうち、「大型化学高所放水車及び泡原液搬送車」又は「高所放水車（大型化学高所放水車、大型高所放水車又は普通高所放水車をいう。）及び化学消防車（大型化学消防車又は甲種普通化学消防車をいう。）」を保有する自衛防災組織等を対象にしており、出場する条件として、管轄する消防本部からの推薦を必要としています。

(3) 審査

7月3日付けで出場組織を募集したところ28消防本部を通じて31組織の応募（1組織辞退）がありました。

今年度は9月24日から10月30日にかけて消防庁職員

が事業所へ出向き現地審査を実施し、その後、提出された競技映像とともに最終審査を行いました。



コンテスト競技中の風景

3 受賞組織の決定

現地審査結果を踏まえ、11月24日に消防庁長官を委員長とする審査・表彰委員会を開催し、最優秀賞（総務大臣表彰）1組織、優秀賞（総務大臣表彰）4組織、奨励賞（消防庁長官表彰）10組織を決定しました。（表1）

4 総務大臣賞表彰式

令和2年12月18日（金）に、合同庁舎第二号館（総務省）地下2階講堂（東京都千代田区霞が関二丁目1番2号）において、総務大臣賞表彰式を開催し、横田消防庁長官から総務大臣賞を受賞した5組織に表彰状と記念品を授与しました。



三井化学株式会社大阪工場 自衛防災組織 総務大臣表彰受賞組織との記念撮影

5 コンテストの結果から

(1) 総務大臣賞受賞組織の競技映像について

最優秀賞及び優秀賞を受賞した5組織の競技映像を、消防庁動画チャンネル（YouTube）で公開しています。指揮命令システムのしっかりとした組織的な活動

や洗練された規律ある活動をご覧頂き、競技に向けた訓練だけでなく、様々な場面で活用して頂きたいと思えます。

☆消防庁動画チャンネル (You Tube)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLUrGKEwru-bAR8rrBtd9OjrOBFoKBQHEX>

(2) 主な減点項目について

現場活動の基本である「安全管理」「指揮系統」「正確・確実性」「機械器具の精通・愛護」の観点から減点として多く取り扱った事例についてまとめましたので、自衛防災組織等の技能向上に活用して頂きたいと思えます。(表2)

6 コンテストを終えて

今年7月から始まった令和2年度のコンテストは、この総務大臣賞表彰式をもって幕引きとなりました。

コンテストの審査を通じ、その競技レベルの高さに感銘を受けました。規律ある洗練された活動は、参加した全ての自衛消防組織等、防災要員が、限られた時間の中、猛暑にも関わらず長期に亘り厳しい訓練を実施してきた成果であると感じました。

競技に参加した防災要員一人ひとりが、安全で効率的な消火活動を探求し、確実な消防車両や機械器具の操作を習得し、防災技能の向上へ弛まぬ努力をしてきた証であると言えます。

本コンテストの趣旨は、自衛防災組織同士が切磋琢磨することによる防災体制の充実強化にあり、出場した全ての組織において、知識、技術及び団結力が強化され、自衛防災力が飛躍的に向上したものと思えます。

今後も訓練に励み、強化された自衛防災組織力を維持し、万一の災害時には強靱なコンビナート防災体制の軸として活躍されることを期待しています。

最後に、コンテスト開催にご協力頂いた特定事業所、都道府県及び消防本部に感謝申し上げます。次年度以降も、より多くの組織にご参加頂けるよう取り組んで参ります。

☆コンテストに関する情報(総務省消防庁のホームページ)

<https://www.fdma.go.jp/relocation/neuter/topics/topic001.html>

問合わせ先

消防庁予防課特殊災害室
TEL: 03-5253-7528

表 1

受賞組織及び所在地一覧

最優秀賞（1 組織）【総務大臣賞】

受賞組織名	所在地
三井化学株式会社 大阪工場 自衛防災組織	大阪府高石市

優秀賞（4 組織）【総務大臣賞】

受賞組織名	所在地
新潟西港地区共同防災協議会	新潟県新潟市
福井国家石油備蓄基地 自衛防災組織	福井県福井市
大阪北港地区共同防災組合	大阪府大阪市
三井化学株式会社 岩国大竹工場 自衛防災組織	山口県玖珂郡和木町

奨励賞（10 組織）【消防庁長官賞】

受賞組織名	所在地
石油備蓄基地 共同防災組織 「苫東石油備蓄隊」	北海道苫小牧市
仙台地区共同防災運営協議会	宮城県仙台市
秋田地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	秋田県秋田市
千種地区共同防災協議会	千葉県市原市
安善町共同防災組織	神奈川県横浜市
東亜石油株式会社自衛防災隊	神奈川県川崎市
新潟東港西地区共同防災協議会	新潟県新潟市
新潟東港東地区共同防災協議会	新潟県北蒲原郡聖籠町
関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織	大阪府泉佐野市
東ソー株式会社 南陽事業所 自衛防災組織	山口県周南市

表 2

減点が多く見られた項目

行動審査項目	減点行為	該当項目
各隊員等の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・車両への乗降に伴う安全管理不備 ・その他の安全管理不備 	競技要領 4 (1)ア、キ (4)ウ
コメント	車両の乗降において、扉の開閉操作を含めて安全確認は確実に実施してください。また、中継バルブ（吸水コック）の開閉確認不足が散見されました。	

行動審査項目	減点行為	該当項目
中隊長を中心とした連携活動	<ul style="list-style-type: none"> ・隊長下命不備 ・隊員等報告不備 	競技要領 3 (3) 4 (1)ア、イ、ウ、エ
コメント	適正な隊長下命が行われていない場面が見受けられました。（例. 自隊員の乗車を確認後、直ちに機関員に「エンジン始動」を下命していない。）また、各隊員等は、自隊の隊長から下命を受け行動し、下命したものに対し受命した旨の意思表示をしてください。受命者の報告は、下命者が履行状況を確認するだけでなく、下命者の次なる判断を的確なものにするためにも非常に重要です。	

行動審査項目	減点行為	該当項目
正確で確実な操作及び活動	<ul style="list-style-type: none"> ・操作確認不備「指差・呼称」 	競技要領 4 (1)キ (5)エ
コメント	屋外の消火栓等にホースを結合する際は、変形や使用に支障が無いかを確実に確認してください。「指差・呼称」はヒューマンエラーを防止するだけでなく、隊員等が現在どのような行動をしているかを他の隊員等に知らせ、情報を共有し、連携を強化する効果があります。	

行動審査項目	減点行為	該当項目
使用機械器具の精通及び愛護	<ul style="list-style-type: none"> ・器具の踏み付け ・器具の蹴飛ばし ・ホース取扱い不適 	競技要領 4 (1)カ (5)ウ
コメント	ホースやホースの金具の踏み付け、延長したホースの蹴飛ばしが散見されました。使用機械器具への愛護意識の低さは、事故の誘因及び機器損傷の原因となります。	